

少人数学級のよさを生かしたきめ細かな指導の充実

～推進校では様々な取組によって、こんな**素敵**な傾向が見られています～



【アンケートで上昇が見られた項目】

児童の声

- 学校に行くのは**楽しい**よ！ ↗
- 友だちと**仲良く**しているよ！ ↗
- **順番を守る**ことができるよ！ ↗

先生の声

- どの子供にも、**活躍**して光が当たる場面を作っています。↗
- お楽しみ会を開いたり、**仲間づくり**の活動を行ったりしています。↗
- 子供たちの**成長**をお祝いする機会をもっています。↗

学習意欲が向上する傾向

- 自分から**進んで勉強**しているよ！ ↗
- 自分の考えを**発表**しているよ！ ↗
- 出された**宿題**を忘れずにやっているよ！ ↗
- 難しいことでも最後まで**やりきる**ことができるよ！ ↗

少人数学級 + きめ細かな指導

- **リーダー役**を多くの子供が経験できるようにしています。↗
- 授業中に**グループでの活動**を通して集団づくりに努めています。↗
- テストの**無回答率**が減少しています。★

児童と向き合う時間が生まれ、 指導の質が向上する傾向

- 重点的な学級づくりの**目標**を定期的に更新しています。↗
- やさしく丁寧な言葉で話す**習慣**を育てるようにしています。↗
- 子供たちの仲間づくりのために**保護者と連携**しています。↗

※令和2～4年の年度末に実施した推進校における児童（小1、小2）及び学級担任対象アンケートの結果より。児童対象アンケートは、少人数学級と非少人数学級を比較し、肯定回答の割合が上昇した項目を記載。学級担任対象アンケートは、少人数学級（小1、小2）と非少人数学級（小3～小6）を比較し、肯定回答の割合が上昇した項目を記載。

少人数学級のよさを生かしたきめ細かな指導の充実

～「学級力向上プロジェクト」による可視化の取組から～



本事業のアドバイザーである早稲田大学教職大学院の田中博之教授のご指導のもと、推進校において少人数教育のよさを生かしたきめ細かな指導を実現するため、「学級力向上プロジェクト」に取り組んだ。「学級力向上プロジェクト」とは、「R-PDCA サイクル」を基に、子どもたちが主体となって自身の学級について考え、学級力を高めるため、学級力アンケートで自分たちの学級を自己評価し、日々の学習や生活の中で実践的に仲間づくりをしていく取組である。

少人数学級では、児童一人一人の意見が反映されやすいため、児童は自身が学級の一員であるという気持ちを持ち、様々な活動に取り組むことができる。

韮崎市立甘利小学校の取組を紹介します！

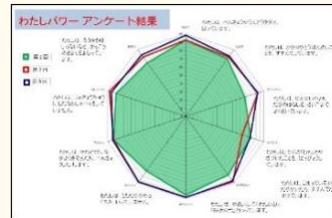


- R** アンケート結果から「学習」の項目をアップさせたいと思ったよ。
- P** みんなで『今週のMVP』の取組にチャレンジしよう！
- D** 毎週末、授業に集中して取り組んだ人を選んで、選ばれた人には賞状を渡すよ。
- C** 意識して頑張る人が増えた。でも、途中から諦めてしまう人も出てきたよ。
- A** 多くの人が選ばれる機会を確保するため、取組を「今週⇒今日」へ変更したよ。
- P** この取組だけでなく、他にも全員で力を合わせて何かを達成したり、認め合えたりする取組があるといいな。新たに『ハッピーだいさくせん』を考えたよ。
- D** 小さなことでも学級全体で協力してできたことに対して、ポイントをつけるよ。
- C** ポイントを貯めるのが楽しくなって、みんなで協力する雰囲気生まれたよ！

【R-PDCAサイクル】

R（リサーチ：実態把握）学級力アンケート

学級力アンケートを実施し、レーダーチャートや学級カプロット図に表す。



P（計画）スマイル・タイム

レーダーチャートを見ながら、児童が主体となって話し合う。

スマイル・ミーティング

レーダーチャートを基に、学級づくりについて複数の教師が話し合う。

D（実施）スマイル・アクション

朝の会、授業中、休み時間、帰りの会、行事などで、具体的な活動を実施する。

C（評価）スマイル・アクションの評価

定期的にスマイル・アクションを見直し、必要に応じて修正を行う。

A（改善）新たなスマイル・アクション

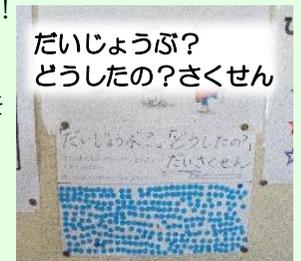
新たなスマイル・アクションを実施する。



笛吹市立御坂西小学校の取組を紹介します！



- R** アンケート結果から「ささえあい」をアップさせたいと感じたよ。
- P** じゃあ、『だいじょうぶ？どうしたの？さくせん』だ！
- D** 困っている友だちがいたら、優しく声をかけよう。
- C** 帰りの会の「今日のはなまる」で支え合っていた人を見付けて発表する人が増えたよ。
- A** もっと「なかよし」の項目をアップさせたいな。
- P** じゃあ、『なかよしだいさくせん』に取り組もう！
- D** 毎週水曜日に、お楽しみ係がみんなで楽しめるレクを考えて、仲良く遊ぶよ。
- C** 遊んだことのない友だちとも遊ぶことができたよ。もっとみんなで遊んでみたいと思ったよ。もっとたくさんの友だちと友だちになりたいと思う人が増えたよ。



少人数学級のよさを生かしたきめ細かな指導の充実

～「韮崎市立甘利小学校」の取組から～



○推進校の取組紹介

「少人数だからこそできるきめ細かな指導」

① 個に応じた指導・支援

- ・児童が学習に向かうプロセスを丁寧に見取るように努めている。
- ・児童の理解度や達成度に応じて、課題解決の方法や使用する教材・教具を選択できるように環境づくりをしている。



② ノート添削と評価の充実

- ・ノートやワークシートへのコメント記入を通して、きめ細かなフィードバックを心がけている。

⇒学級内の児童の数が減るため、多様な考えを引き出す工夫が求められる。指導力向上のために今後も研究をしていく必要がある。

○第1学年 特別活動「運動会でパワーアップ！！」

- ・運動会に向けて、なりたい自分の姿をイメージし、自身が取り組むことを決める授業。1人1台端末の思考ツールを活用した。個に寄り添った指導で児童は、自分の考えに自信をもって発表できていた。



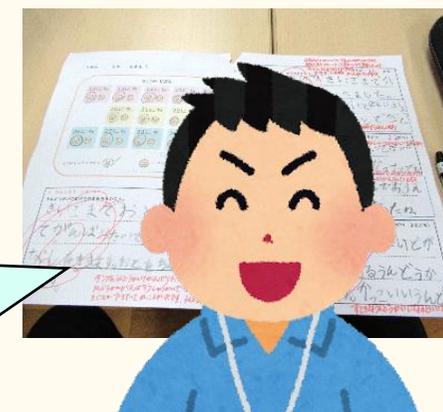
○「学力向上フォーラム(令和3年8月実施)」

- ・学力向上フォーラムにおいて、アドバイザーによる学級力向上に関わる講話の実施と推進校の取組に関わる講師とパネリスト（推進校職員）によるトークセッションを開催した。



○少人数学級で感じるメリット

- ・授業の中で児童一人一人に目が行き届きやすくなるだけでなく、ワークシートへのコメントや採点などに時間をかけて丁寧に行うことができます。
- ・学級数が増えることで、クラス替えができるようになり、人間関係が固定化されることを緩和できます。
- ・児童一人一人と関わる時間が増えることで、児童理解が深まります。
- ・特に体育の授業において、身体活動の機会を多くもたせることができ、技能の習得に効果的だと感じます。



少人数学級のよさを生かしたきめ細かな指導の充実

～「笛吹市立御坂西小学校」の取組から～



○推進校の取組紹介

「児童同士をつなぎ生かす教師の関わり」

① 個々の児童のよさを生かすためのきめ細かな見取り

- ・一人一人がどのような考えをもち、授業を通してどう変容したのか、理解したのかを把握しやすく、次時の指導にも生かすことができている。
- ・机間巡視をしながらノート指導など個に応じた指導を行っている。

② すべての児童が学びに参加、思いや疑問を表出できる支援

- ・班や小グループでの話し合い活動等において、支援が必要な児童にきめ細かな対応をすることができ、活動に参加させることができている。

⇒児童同士の交流がより活発になる場の設定について研究していきたい。
児童の思考をつなぐ教師の対応力をさらに磨いていく必要がある。

○第1学年 道徳科「くりのみ」

- ・学級力アンケートのレーダーチャートを導入で活用した。児童が様々な考えを出すことができるよう工夫していた。



○「学力向上フォーラム(令和3年8月実施)」

- ・学力向上フォーラムにおいて、アドバイザーによる学級力向上に関わる講話の実施と推進校の取組に関わる講師とパネリスト（推進校職員）によるトークセッションを開催した。



○少人数学級で感じるメリット

- ・学級での役割など、多くの児童に**活躍の場が保障**できます。
- ・あらゆる活動の場面において、個々への評価を行うことができ、**フィードバック**ができます。教師が細かな児童の様子にも気付くことができ、それを児童に返すことによって自己肯定感を育て、高めることができます。
- ・**準備や片付けが比較的短時間で可能**なため、授業で活動する時間を長く確保することができます。
- ・特に低学年では生活面において身に付けておきたい力がたくさんあります。支度や片付け、着替え、道具の使い方など、**個々に対応**することができます。

